アッ！小学校が火事だ ソレ、出動

実は消防団連合演習

「一一九番、小学校の用務員室より出火、直ちに出動願います。尚、重要物件搬出中煙にまかれて負傷者あり、救急車の出動も願います。」　去る、六月三日、月潟村消防団では、村民の生命と財産を火災等から守り併せて防火に対する警戒を呼び起し村民の防災意識を高めていただくため、相定演習による月潟小学校火災防ぎょ訓練を行なったものです。

午前7時15分、役場のサイレンを合図に消防自動車、小型ポンプ車八台が一斉に出動、また、白根地区消防本部からも消防車、救急車が現場に到着、後藤演習隊長（副団長）の指揮のもとで機敏に消火が行なわれ実践さながらの様相でした。

今回は、最近の農業用水路改修に伴ない消防水利の確保が困難であったと言う中で防火水槽の機能実証と中継による放水訓練を兼ねて行なわれました。このあと、中学校グランドで時おり雷雨の降る中、人員、姿勢、服装、ポンプ車の点検を行ない、ポンプ操法、自動車による模範操法実施後、ラッパ吹奏にあわせて力強い市中行進で閉会となりました。

当日、表彰を受けられた方々は次のとおりでした。（敬称略）

◎月潟村消防表彰規則により表彰されたもの

◎十年以上永年勤続者

北　勝美、井沢義明、小山久司

◎十五年以上永年勤続者

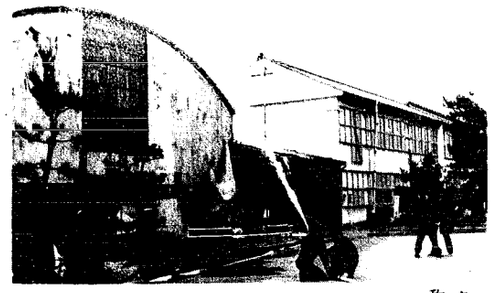
風間　茂、山崎庸盛、北俊英、田辺勝利、田辺富夫、山坂　勉、関本　誠、小林直治、斎藤孝一、小湊　真

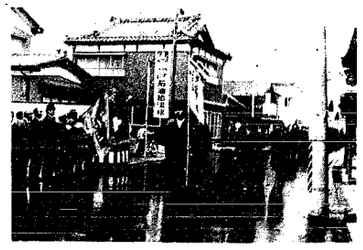
◎二十年以上永年勤続者

田辺　勇、中村甚一郎

◎十年以上勤続し退団したもので他の模範と認められる者

棚橋敏男、梨本邦雄





写真上段　煙にまかれた負傷者を救出
中段　永年勤続20年で表彰を受ける田辺さん
下段　市中行進では勇姿も緊張気味？

青少年を非行から守る 全国強調月間が始まります

7月1日～31日

次第を担う青少年を健全に育成し非行をまもるため国際児童年を契機として七月一日から三十一日までの一ケ月間「青少年を非行からまもる全国強調月間」が実施されます。

近年、青少年の非行が急激に増加し悪質化、多様化の状況にあります。その例を取り上げても恐喝、集団万引等で補導されているケースが目立っております。この期間中はとくに次の点について指導強化されることとなっておりますが、家庭内においても常日頃の親子間の対話等で青少年を非行からまもってあげてください。

◎非行防止意識の高揚

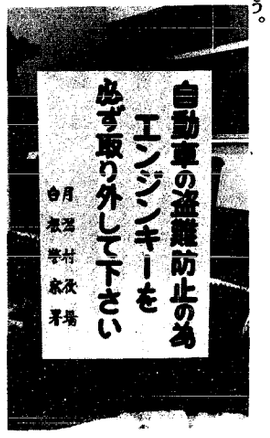
すべての住民が非行防止について理解と認識を深め、日常的にこれに取り組むようその気運の醸成を図りましょう。

◎少年を取りまく有害環境の浄化

自動販売機によるポルノ雑誌や有害広告物の徹去につとめましょう。

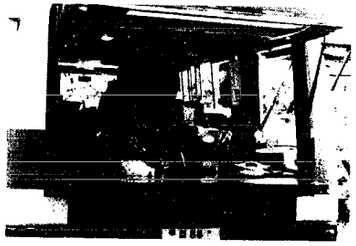
◎少年非行の防止

健全育成は親子の対話から外泊、夜遊びは非行の第一歩！



1日の食事内容をバランスのとれたものにしよう＝食生活改善推進委員　中村久子

6月8日、走る栄養指導車キッチンカーが今年もやって来ました。会場を月寿荘前と曲通公民館前にして健康づくりに最も大切とされている、「バランスのとれた食事づくり」をテーマに実演を行なったところ、多数の方々から参加いただきました。課題はバランス食とは何か？…栄養士さんからは「より多くの食品をとり入れて愛情をもって作れ、自然とおいしいものが出来上る。何も美食することが目的でない。」と指導いただきました。その日の献立が魚か肉かきまったらまず主役は、魚か肉でなく附属の野菜を考えること、常に6つの食品の顔を思い出す。私達も食事づくりの大切さを新たにしたいものです。幸い就業改善センターが近く出来上り食生活実習の場もひろがると聞きました。「これだったら出来る」食事づくりを実習したいと思います。ぜひ又より多くの方が参加下さいましていっしょに学びたいと思います。



（愛情をもった味とは　に聞きいる主婦）

昭和54年度 保健委員など任命

昭和五十四年度の保健委員などが次のとおり任命されました。今年度の保健衛生事業、特に本年は健康づくり推進事業を重点とし各種検診をはじめ予防接種等での村民の皆さんとのパイプ役をつとめて頂きます。よろしくお願いします。

○予防衛生委員（敬称略）

薄田アイ　武石京子
金子トシ　北　春子
斉藤クニイ　北　フミエ
高野　操　野沢ハル
青柳実子　大関タツ
髙木美子　小林テル
小林えり子　池田ユキ子
野口トシ　白倉結子
荏原ヨリエ　池田トシイ
小林芳子　曽山陽子
谷　ミサヲ　大谷ヌミ子
樋浦トシ　大橋章子
山田起美子　間島ヨシ
関根忠子　山崎ハルイ
渡辺マサ　児玉　裕

○食生活改善推進委員

◎五十嵐藤重　髙橋容子
堀　マサ子　山田弥生
中村久子　髙柳トミイ
田中エミ　後藤チカ
泉田　紀　大橋章子

○公衆衛生委員

坂井一郎　小湊忠八
佐藤邦夫　五十嵐勇夫
野口文栄　原　義男
原　金蔵　◎山田清松
野内長生　関根俊一
間島慎司　狄原松朔
児玉勲一　塩浦清一

○母子保健推進委員

深沢きよ　小林美津子
川井英美子　◎鷲尾尚子
狄原セツ子　近藤勝子
後藤　郁　服部クニ
白倉美枝　野沢トミ

◎印は代表者です。

生かして使おう資源とエネルギー

―各家庭でも石油消費節約を―

資源とエネルギーは、私達共通の財産です。その資源やエネルギーによって、私達の生活は向上してきました。しかし、地球上の資源は有限であり、我国ではそのほとんどを海外に依存しています。限られたものを大切に使う、生かして使う、できるだけ捨てない、使い終った物もなるべく回収し、再生して活用するといった考え方や生活習慣が必要となっています。

とくに最近では、石油をめぐる国際情勢が厳しくなっていることから、国際エネルギー機関加盟各国では、協調してエネルギー消費の節減や燃料転換などにより、約5%の石油消費の削減を行うことにしています。

このため政府では、この目的達成のため、省エネルギー対策に積極的に取り組んでいますが、各家庭でも次のことを心がけて、石油消費の節約に努めて下さい。

(1)室内に温度計を常備し、室温を暖房時には19℃以上としない。また、冷房時にはおおむね28℃とするよう努める。住宅の新築、改築等にあたっては、断熱材を使用する等できる限りその断熱構造化を図る。

(2)鉄道、バス等の大量輸送機関の利用、自転車の利用により、マイカー通勤、通学、買物をできる限り自粛する。

(3)レジャーはできる限り鉄道・バス等を利用することとし、特にマイカーによる休日の高速道路への乗り入れをできる限り自粛する。

(4)経済速度（高速道路では時速80km以下）による走行を励行する。

(5)テレビの視聴時間の短縮や冷暖房器具、電灯をこまめに消すことにより適切なエネルギーの節約に努める。

「人並みの"貯金"がないといざというときに大変です。」

家庭でもいざというとき貯金がないと、毎日の生活が不安ですね。石油もお金と同じです。とくに日本は、エネルギーの89%を外国から輸入し、しかも輸入石油の78%を政情不安な中東地域からの供給に頼っているということを忘れてはなりません。備蓄の努力とともに、毎日のエネルギー節約がぜひとも必要であり、また大変重要なことです。

省エネルギーのチエ ①

使わない電気器具はこまめにスイッチを切りましょう。

これは家じゅうのルールにするといいですね。例えば、人のいない部屋の照明はこまめにスイッチをきること。テレビのスイッチ、ガス湯沸器の口火も使う時だけつけるようにすることなど、これだけでもずいぶん省エネルギーになります。